

平成25年度

国土交通省大隅河川国道事務所の予算と事業概要

豊かな暮らしを求めて

～安全・自然・利便性を追求する～

平成25年 5月 16日

問い合わせ先 大隅河川国道事務所 TEL 0994-65-2541(代)

河川・砂防事業関係	技術副所長	<small>ながよし しゅうへい</small> 永吉 修平 (内線204)
道路事業関係	技術副所長	<small>ながとし しんたろう</small> 永利 信太郎(内線205)

平成25年度 大隅河川国道事務所 予算概要

- 都市と地方を結び、地域の活性化を図る
- 安全・安心な国土整備で、地域の活性化を図る
- 豊かな自然を創造し、地域の活性化を図る

平成25年度事業費総括表

(単位:百万円)

事業費		平成25年度 (A)	平成24年度 (B)	(A)／(B)	参考 (平成24年度補正)
河川	河川整備事業費等	1,078	1,158	0.93	2,468
砂防	砂防事業費	1,711	1,637	1.05	1,160
道路	直轄高速	7,200	7,200	1.00	5,135
	バイパス等	718	682	1.05	310
	歩道整備等	819	924	0.89	624
	小計	8,737	8,806	0.99	6,069
計		11,526	11,601	0.99	9,697

※事業費は事務取扱費を含んでいない。

※維持管理に関する各事務所の費用は、必要に応じて配分される。

私たちの取り組み姿勢

”地域の皆様の声を反映させながら、大隅を創ります！”

- 情報を発信します
- 地域との対話に努めます
- 地域活動を支援します
- よりよい環境づくりに努めます
- より安全な地域づくりに努めます

◎平成25年度 河川事業のポイント

しもたに 下谷川合流点下流部の改修及びさわじりばし 沢尻橋の架替え

(別添:河川①)

肝属川本川と支川下谷川の合流点から沢尻橋付近までの河道は、洪水を安全に流せるだけの断面が不足しています。そこで断面を拡大するために河道掘削を実施しています。

特に、掘削区間内の沢尻橋地点は局所的に川幅が狭くなっており、また、道路橋としても幅員が狭く拡幅する必要があるため、鹿屋市と連携して沢尻橋の架替工事を行っています。

平成24年度までに河道掘削は完了したため、平成25年度は沢尻橋の上部工架設及び付道路を実施し、事業完了を目指します。

☆整備内容: 沢尻橋架替え

しら 串良川中流部の河道掘削

(別添:河川②)

串良川中流部の河道は、洪水を安全に流せるだけの断面が不足しています。また、近年では、平成17年9月の洪水により浸水被害が発生しています。

そこで、浸水被害の軽減を目的として、河道掘削に着手します。

平成25年度は、河道掘削を実施するにあたり支障となる大塚原前橋の補強に着手します。

☆整備内容: 大塚原前橋 橋脚補強

肝属川下流部の高潮(津波)・耐震対策

(別添:河川③)

肝属川河口部の波見地区(肝付町)の堤防は高潮に対する堤防高が不足していることから高潮が発生した場合、家屋浸水が想定されます。また、その河口部は太平洋側に面していることから東南海・南海地震並びに日向灘沖地震等の地震が発生した場合、津波による家屋浸水も想定されます。そのため、高潮を想定した耐震構造の堤防及び河川構造物の改修を図ります。

平成25年度は、波見地区において堤防及び河川構造物の耐震対策が必要な箇所の耐震化工事を実施し、事業完了を目指します。

☆整備内容: 堤防嵩上げ L=約500m、堤防耐震化 L=約500m

ほのき すいもん 甫木水門の老朽化対策及び甫木川の治水安全度向上

(別添:河川④)

甫木水門から肝属川に合流する支川甫木川の周辺地区では、近年(H5、H9、H17)の洪水等で度々、家屋の浸水被害が発生していることから、その対策として県の甫木川改修と連携しながら甫木水門の改築を行います。

また、甫木水門は昭和43年に建築され築後40年以上が経過しており、ひび割れやコンクリート剥離など老朽化が進行している状況にあることから、平成23年度に設計を行い、平成24年度から工事に着手し、平成27年度完成を目指します。

☆整備内容: 本體工、ゲート製作

河川管理施設の維持管理

堤防、護岸及び水閘門等の河川管理施設は、流域住民の生命・財産を台風や梅雨期の洪水から守る重要な施設です。

このような河川管理施設は維持管理を行うことで、各施設の機能を確保し、洪水に備えます。

平成25年度は、堤防の除草、河川の点検時に漏水が確認された箇所について、護岸補修などを実施します。



大型機械の遠隔操作による堤防除草



漏水対策(護岸補修)箇所

刈り草配布を実施しコスト縮減を図る

堤防の維持管理に伴う堤防除草は、大量の刈り草がでます。

そこで、平成14年度から畜産農家などに無料配布したところ、大変好評を得ております。資源の有効活用とともに、大幅なコスト縮減(処分費縮減)が図られていることから、平成25年度も継続して実施します。

【参考】 平成25年度除草予定面積 : 約 172万m²

(堤防除草状況)



(刈り草引取状況)

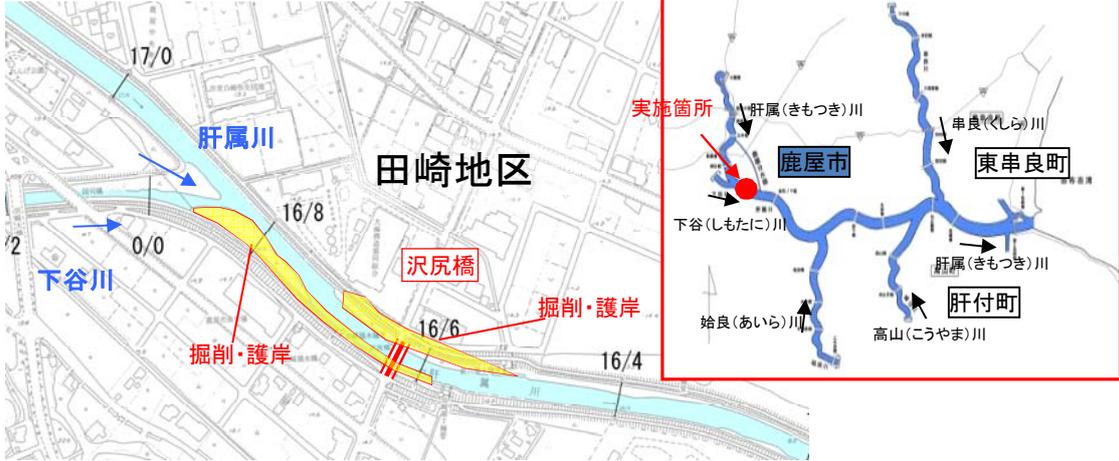


①下谷川合流点下流部の改修及び沢尻橋の架替え

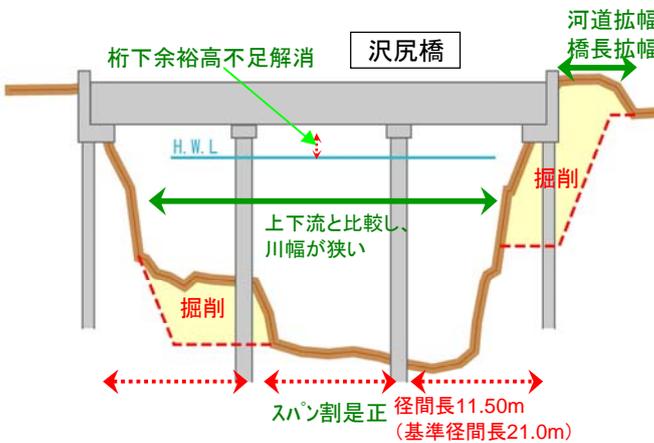
鹿屋市街地部に位置する肝属川本川と支川下谷川の合流点から沢尻橋付近までの河道は、流下能力が不足しているため、平成23年度から河道掘削を実施し、治水安全度の向上を図っています。

特に、沢尻橋付近は局所的に川幅が狭く、また、道路橋としても幅員が狭く拡幅する必要があるため、道路管理者である鹿屋市と連携して沢尻橋の改築を実施しています。

【整備箇所：鹿児島県鹿屋市】



沢尻橋より上流を望む



沢尻橋の上流より下流を望む

沢尻橋付近河道掘削・橋梁改築イメージ (16/600)

②串良川中流部の河道掘削

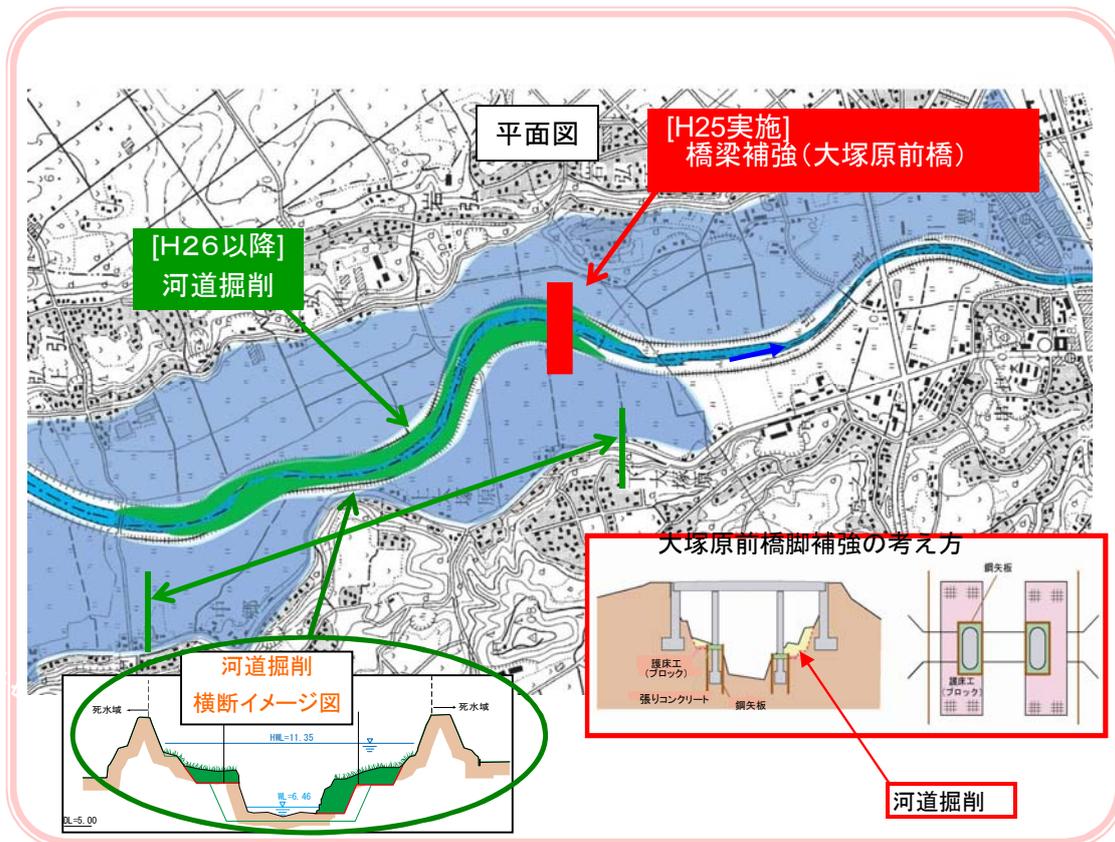
鹿屋市串良町、肝属郡東串良町に位置する串良川中流部の河道は、洪水を安全に流せるだけの断面が不足しています。また、近年では、平成17年9月の洪水により浸水被害が発生しています。

そこで、浸水被害の軽減を目的として、河道掘削に着手します。

平成25年度は、河道掘削を実施するにあたって支障となる大塚原前橋の補強に着手します。



【整備箇所：鹿児島県鹿屋市串良町、肝属郡東串良町】



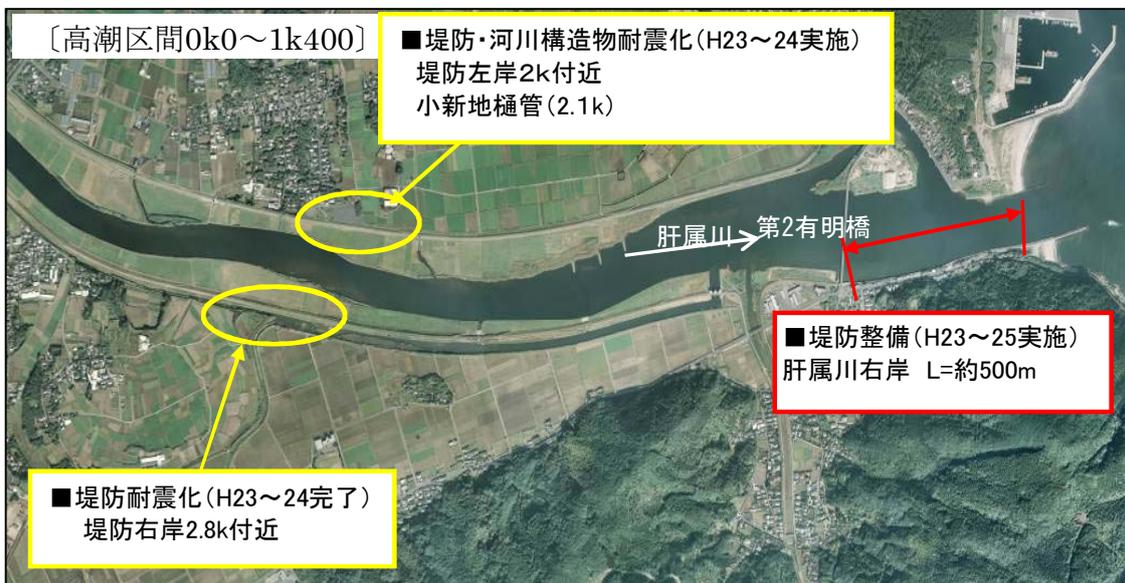
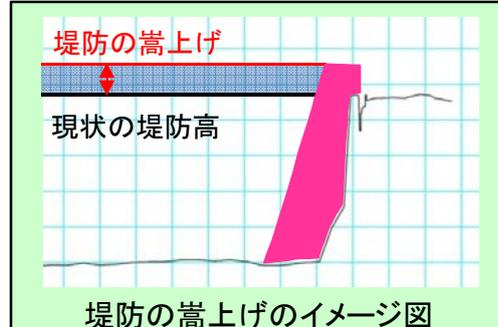
③肝属川下流部の高潮(津波)・耐震対策

肝属川河口部付近の肝属郡肝付町波見地区の堤防は高潮に対する堤防高が不足していることから高潮が発生した場合、家屋浸水が想定されます。また、河口部は太平洋側に面していることから東南海・南海地震並びに日向灘沖地震等の地震が発生した場合、津波による家屋浸水も想定されます。そのため、高潮を想定した耐震構造の堤防及び河川構造物の改修を図ります。

波見地区等において、堤防及び河川構造物の耐震対策が必要な箇所の耐震化を実施し、平成25年度完成を目指します。



【整備箇所：鹿児島県肝属郡肝付町・東串良町】



④ 甫木水門の老朽化対策及び甫木川の治水安全度向上 (特定構造物改築事業)

甫木水門から肝属川に合流する支川甫木川の周辺地区では、近年(H5、H9、H17)の洪水等で度々、家屋の浸水被害が発生していることから、その対策として県の甫木川改修と連携しながら甫木水門の改築を行います。

また、鹿屋市串良町甫木水門は昭和43年に建築され築後40年以上が経過しており、ひび割れやコンクリート剥離など老朽化が進行している状況にあることから、平成23年度に設計を行い、平成24年度から工事に着手し、27年度までの5年間で緊急的に整備を実施します。

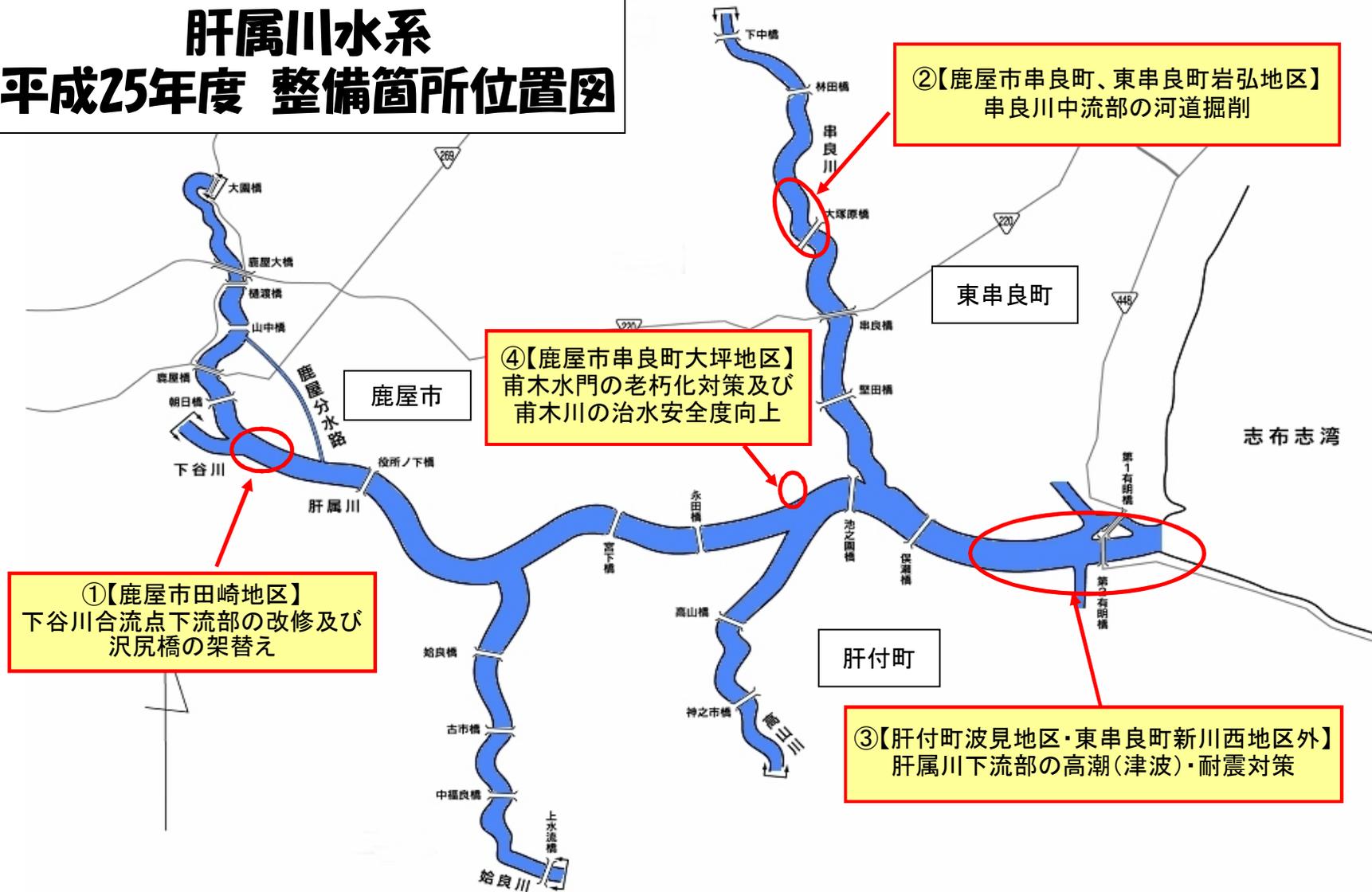
【整備箇所：鹿児島県鹿屋市串良町】



現在の甫木水門



肝属川水系 平成25年度 整備箇所位置図



◎平成25年度 砂防事業のポイント

^{ありむら}有村川砂防施設群の整備促進

(別添:砂防①)

降灰の影響により堆積が進行している昭和火口周辺からの土石流に対し、砂防堰堤工等の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、有村地区の民家・国道224号等を保全します。

平成25年度は、有村川支川の砂防堰堤等の整備を促進します。

☆整備内容: 砂防堰堤工
床固工

^{はせ}長谷川砂防施設群の整備促進

(別添:砂防②)

侵食が進行している北岳周辺からの土石流に対し、遊砂地工の整備を行い、土石流の氾濫を防ぎ、武・赤生原地区の民家・主要地方道桜島港黒神線等を保全します。

平成25年度は、遊砂地工(掘削・床固工)の整備を促進します。

☆整備内容: 遊砂地工(掘削・床固工)
用地買収促進

砂防施設の機能確保(砂防管理)

(別添:砂防③)

桜島の噴火に伴う継続的かつ大量の土砂流出等により、適正に機能を確保することが困難な砂防設備について、国で管理を実施しています。

平成25年度も引き続き、土石流土砂撤去や砂防施設補修を実施し、土砂流出による災害から人命財産を保全します。

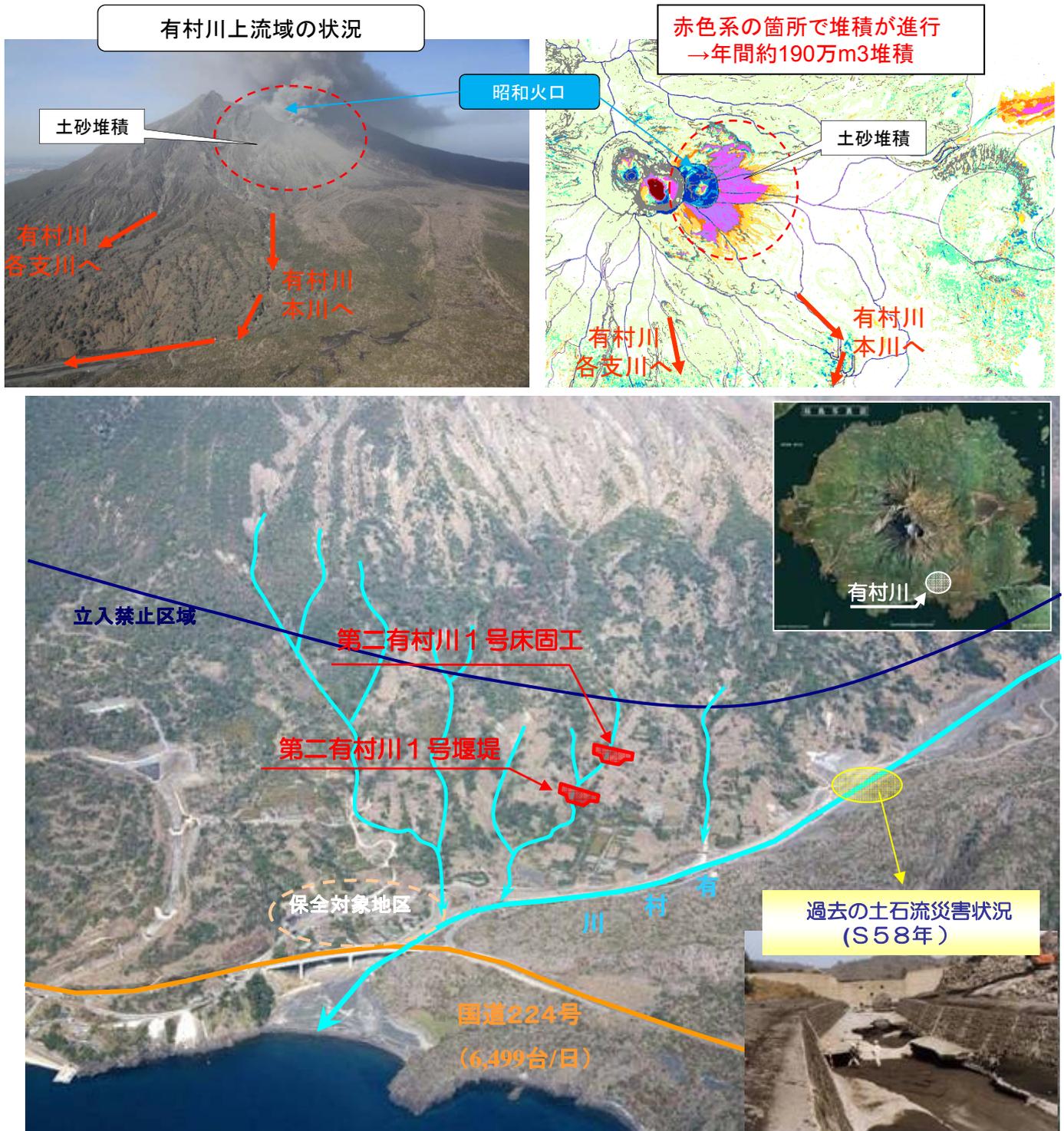
ありむらがわさぼうしせつぐん
①有村川砂防施設群の整備

【概要】

- ・有村川は、桜島の南部に位置し、昭和火口を源頭部にもち火山活動の影響を強く受ける河川である。
- ・降灰の影響により、源頭部の荒廃や土砂堆積が進行し、今後大規模土石流の発生が懸念される。
- ・砂防施設群の整備を推進し、下流域の民家及び災害時の緊急輸送路である一般国道224号を保全する。

【事業内容】

- ・砂防堰堤 1基
- ・床固工 1基



はせがわさぼうしせつぐん
②長谷川砂防施設群の整備

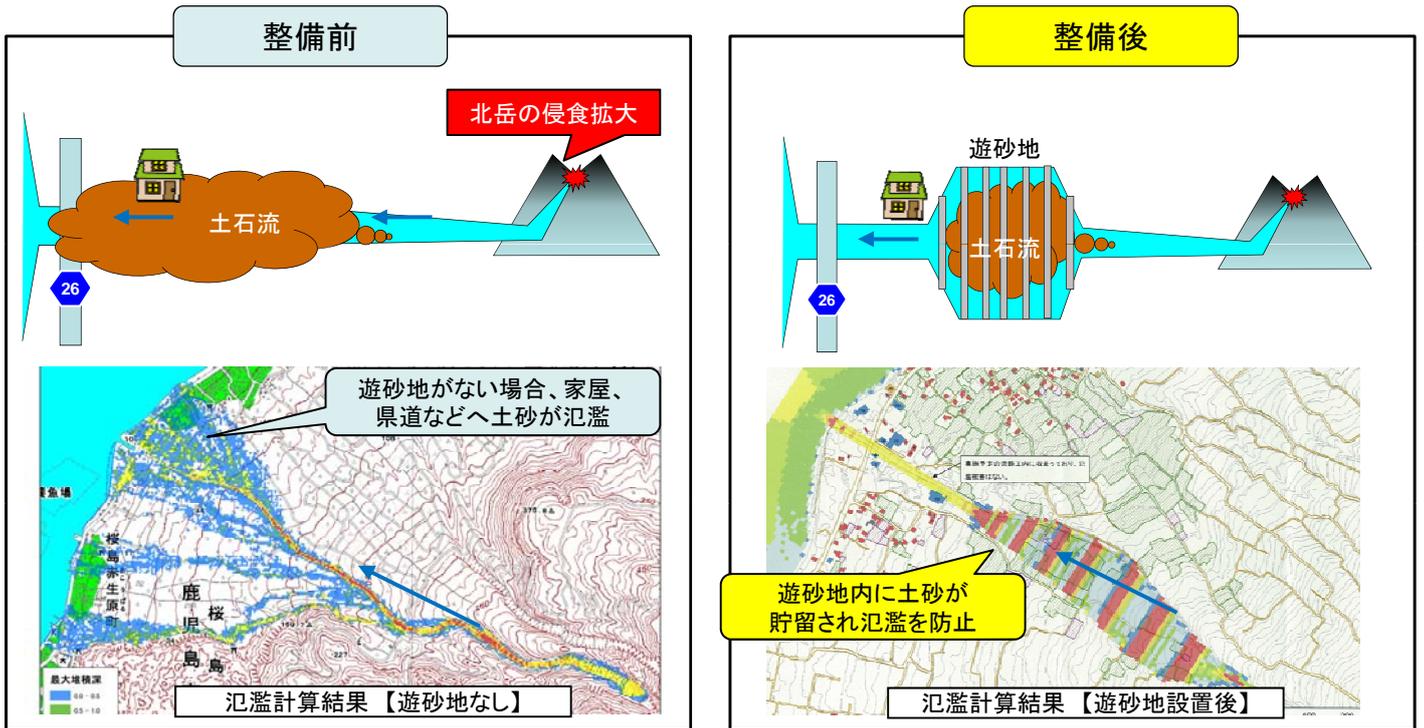
【概要】

- ・長谷川は、桜島の北部に位置し、北岳火口を源頭部とする河川。
- ・北岳河口部の侵食が拡大し、それに伴う土石流の危険が高まっている。
- ・遊砂土工の整備を推進し、下流域の民家及び県道26号を保全する。

【事業内容】

- ・遊砂土工 一式

遊砂土工の整備効果イメージ



長谷川遊砂地の整備イメージ

③砂防施設の機能確保(砂防管理)

【概要】

・桜島の噴火に伴う継続的かつ大量の土砂流出等により、適正に機能を確保することが困難な砂防設備について、国直轄で管理を行い土砂流出による災害から人命財産を保全します。

【事業内容】

- ・除石工 1式
- ・砂防設備修繕 1式

位置図



爆発的噴火回数
H22年 : 896回
H23年 : 996回
H24年 : 883回

桜島、活発化の傾向

無尽蔵に供給される土砂

土石流頻発

土砂の異常堆積



通常の野尻川下流の流路

土石流1回での堆砂状況

土石流流出 →

← 除石

毎年の適切な管理(除石)を実施しなければ将来氾濫！

土砂流下状況 (高水敷まで遡上)

工事中状況

◎平成25年度 道路事業のポイント

高速道路 東九州自動車道の整備推進

(別添:道路①)

曾於弥五郎(そおやごろう)IC～末吉財部(すえよしたからべ)IC間(L=11.1km)については、平成22年3月14日に開通済み。

志布志(しぶし)IC(仮称)～曾於弥五郎(そおやごろう)IC間(L=36.9km)については、道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査及び橋梁上部工・改良・舗装工事を推進します。

国道220号 ^{ふるえ}古江バイパス ^{ふるさと}古里地区道路整備推進

(別添:道路②)

白水(しろみず)地区～古里(ふるさと)地区の橋梁設計、用地調査、用地買収、改良・舗装工事を推進します。

国道220号 ^{しんじょう}新城拡幅 ^{くぬぎばる}垂水市柘原地区道路整備推進

(別添:道路③)

柘原(くぬぎばる)地区の道路設計、用地買収、舗装工事を推進し、走行車両・歩行者の安全性向上を図ります。

国道220号 ^{はやさき}早崎改良 ^{わきのぼり}垂水市脇登～^{おばま}小浜地区道路整備推進

(別添:道路④)

脇登(わきのぼり)～小浜(おばま)地区の道路設計、用地買収、トンネル・改良・舗装工事を推進し、走行車両・歩行者の安全性向上を図ります。

交通安全事業 安全な歩行空間の実現へさらに前進

(別添:道路⑤)

歩行者の安全性の向上を図るために、歩道整備を行います。

○自歩道整備推進: 押切(おしきり)自歩道整備事業

○歩道整備推進: 牛根麓(うしねふもと)歩道整備事業、二川(ふたがわ)歩道整備事業、牛根境(うしねさかい)歩道整備事業、古里(ふるさと)歩道整備事業、宮崎小路(みやざきしょうじ)歩道整備事業、桜島赤水(さくらじまあかみず)歩道整備事業

維持管理 安全・安心な道路環境を保つために

地域の実情や路線の特性を踏まえ、道路の巡回や路面清掃、除草、道路植栽管理、舗装補修などを実施します。

また、道路施設の老朽化については、定期的に点検を実施し、計画的に橋梁補修や防災対策などを実施します。

①東九州自動車道

平成25年度は志布志 I C（仮称）～曾於弥五郎 I C間の道路設計・用地買収・埋蔵文化財調査及び橋梁上部工・改良・舗装工事を推進します。

事業の概要

当路線は、九州縦貫自動車道及び九州横断自動車道とともに、九州の高速自動車国道のネットワークを形成し、東九州地域の産業・経済・観光・文化の振興と均衡ある発展を図り、また交通混雑の緩和、輸送時間の短縮など沿線諸都市の生活向上・活性化に資するために計画されたものです。

■平成25年度 志布志（仮称）～末吉財部間

- 曾於弥五郎 I C～末吉財部 I C

平成22年3月14日暫定供用（2/4）

- 鹿屋串良 I C（仮称）～曾於弥五郎 I C

平成26年度供用予定（2/4）

大鳥川橋外5橋： 上部工工事

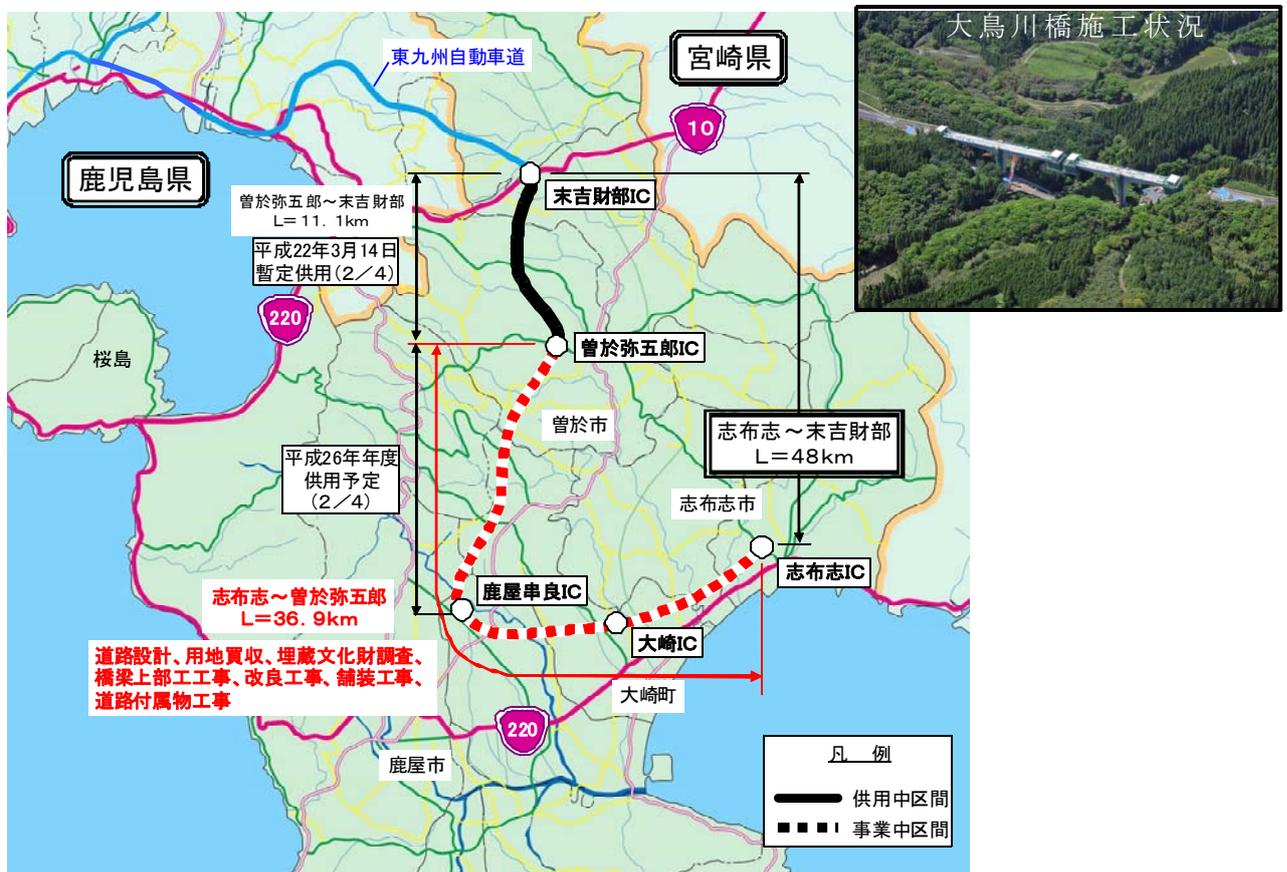
埋蔵文化財： 天神段遺跡調査

道路設計、用地買収、改良工事、舗装工事、道路付属物工事

- 志布志 I C（仮称）～鹿屋串良 I C（仮称）

埋蔵文化財： 立小野堀遺跡外調査

道路設計、用地買収



③ 国道 220 号 新城拡幅

平成 25 年度は垂水市 柗原 地区の道路設計、用地買収、舗装工事を推進します。

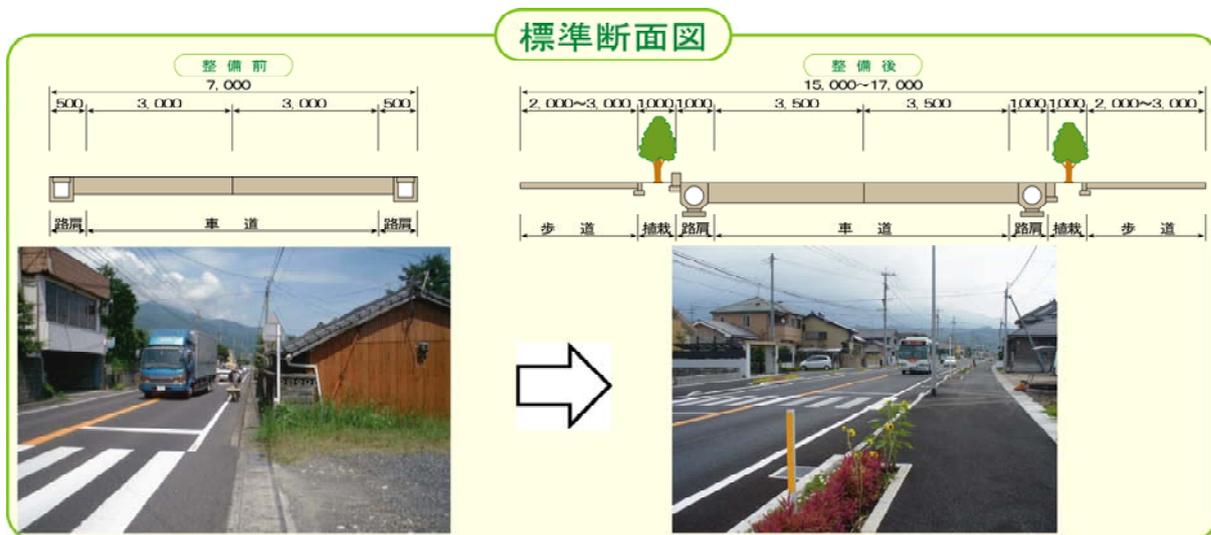
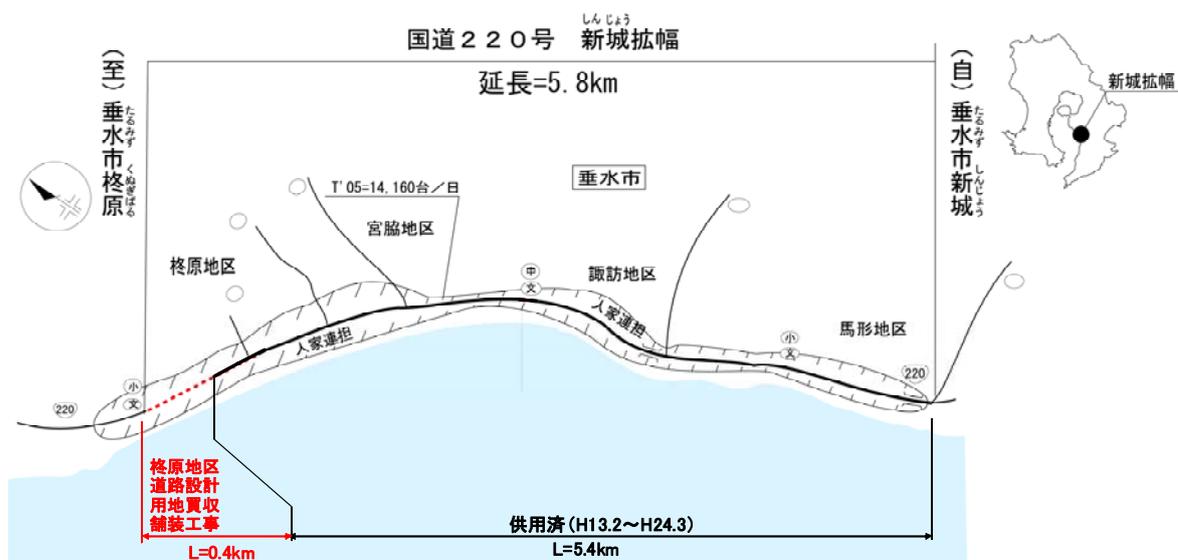
目的 垂水市 新城 地区～ 柗原 地区の幅員狭小区間における車道拡幅、歩道整備を行い走行性・安全性の向上を図る。

起・終点 (自)垂水市 新城 ～(至)垂水市 柗原

- 計画諸元
- ・ 事業化：昭和 58 年度
 - ・ 構造規格：第 3 種第 2 級 ・ 設計速度：V=60km/h
 - ・ 延長：L=5.8km
 - ・ 幅員：W=15.0 ～ 17.0m
 - ・ 平成 24 年度末までの供用延長：L=5.4km

平成 25 年度予定事業

- ・ 平成 25 年度供用予定 (2 / 2)
- ・ 道路設計、用地買収、舗装工事



④ 国道220号 早崎改良

平成25年度は垂水市脇登～小浜地区の道路設計、用地買収、トンネル・改良・舗装工事を推進します。

目的 垂水市海潟～前崎地区の異常気象時の事前通行規制区間（連続雨量150mm以上通行止）を解消し、交通安全の確保を目的とした防災対策事業。

起・終点 (自)垂水市海潟～(至)垂水市前崎

計画諸元 ・事業化：昭和59年度

・構造規格：第3種第2級 ・設計速度：V=60km/h

・延長：L=5.2km

・幅員：W=11.5m

・平成24年度末までの供用延長：L=3.8km

(平成19年度までに延長3.8km間を供用し、異常気象通行規制区間については解消済み)

平成25年度予定事業

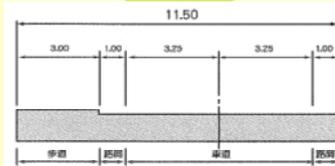
・平成25年度供用予定(2/2)

・道路設計、用地買収、トンネル・改良・舗装工事



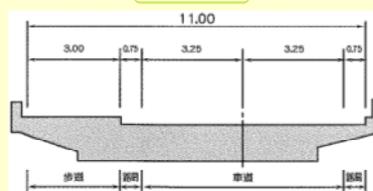
標準断面図

一般部



海潟トンネル(現道状況)

橋梁部



牛根大橋(完成後)

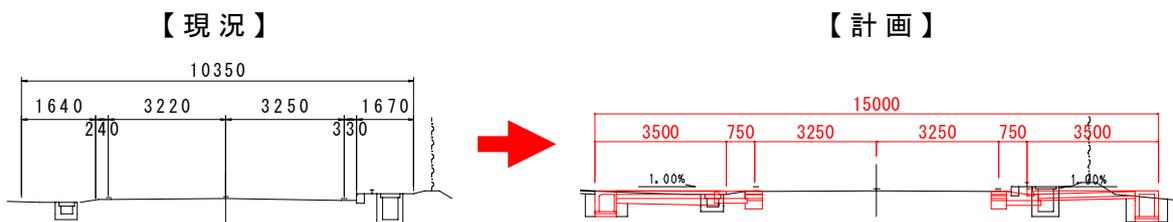
⑤交通安全事業

歩行者の安全性の向上を図るために歩道整備等を行います。

平成25年度予定事業

国道 220 号	押切自歩道整備事業	L=860m	用地買収・工事推進	(志布志市)
国道 220 号	宮崎小路歩道整備事業	L=130m	用地買収推進	(垂水市)
国道 220 号	牛根麓歩道整備事業	L=610m	用地買収・工事推進	(垂水市)
国道 220 号	二川歩道整備事業	L=1090m	用地買収・工事推進	(垂水市)
国道 220 号	牛根境歩道整備事業	L=930m	用地買収・工事推進	(垂水市)
国道 224 号	古里歩道整備事業	L=1400m	工事推進	(鹿児島市)
国道 224 号	桜島赤水歩道整備事業	L=940m	用地買収・工事推進	(鹿児島市)

志布志市押切地区自歩道整備



自歩道を新設することで
安全・安心な歩行空間を確保。

平成25年度 道路事業箇所図

桜島赤水歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

宮崎小路歩道整備事業
(用地買収推進)

牛根境歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

早崎改良

事前通行規制区間
L=3.8km

二川歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

牛根麓歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

古里歩道整備事業
(工事推進)

脇登地区～小浜地区

道路設計、用地買収、トンネル・改良
舗装工事の推進

道路設計、用地買収、埋蔵文化財調査、
橋梁上部工・改良・舗装工事の推進

道路設計、用地買収、
舗装工事の推進

押切自歩道整備事業
(用地買収・工事推進)

白水地区～古里地区
道路設計、用地調査・用地買収、
改良・舗装工事の推進

新城拡幅

古江バイパス

東九州自動車道

末吉財部 I C

曾於弥五郎 I C

曾於市

都城市

志布志市

志布志 I C (仮称)

志布志港

大崎町

鹿屋申良 I C (仮称)

大崎 I C (仮称)

東串良町

肝付町

大隅河川国道事務所

肝属川

垂水新港

海湯

赤水

古里

牛根境

二川

牛根麓

牛根麓

垂水市

柁原地区

新城

鹿屋市

鹿児島市

桜島港

桜島7+1
鹿児島港

鴨池港

垂水フェリー